

6月8日（月）に豊後大野市朝地公民館にて、竹田教育事務所管内第1回地域授業改善協議会を行いました。
研究主任を対象に、「楽しくて力の付く授業づくり～新大分スタンダードR8改訂版～」による授業改善の促進についての講義や協議を行うことで、管内小中学校のミドルリーダーを中心とした組織的な授業改善を図りました。

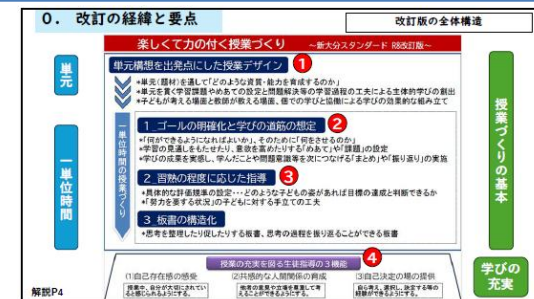
【説明】 「楽しくて力の付く授業づくり～新大分スタンダードR8改訂版～」

行政説明の様子



以下の4点について事例を踏まえながら確認しました

- ① 改訂の経緯と要点
- ② 単元構想を出発点にした授業デザイン
- ③ 1単位時間の授業づくり
- ④ 授業の充実を図るために



【協議】 「単元構想を出発点とした授業デザイン」を中心とした組織的な授業改善の在り方について

①（個人で）現状課題、今後の取組

自校の授業改善の現状を踏まえ、学校としての課題を整理し、今後の取組について考えました。

②グループで共有



本年度、校内研で取り組もうとしていることを共有し、自校の研究の参考になりうるものを見い出しました。

③文部科学省サポートマガジン「みるみる」の事例から学ぶ



④「こんなことができるのでは」

【説明】や【協議】で学んだこと、これから実践したいことを踏まえ、研究主任としての考えを整理しました。

受講者の振り返り

○これまで漠然と行っていた1時間完結型の授業から、単元を見通した複数時間の指導（逆引き設計など）へと転換する意義がよく分かりました。児童生徒が主体的に考える時間をしっかり確保できる授業デザインに挑戦していきたいです。

○普段はなかなか交流できない他校の先生方と、校内研修の実態や授業改善に向けた取組について話し合うことができ、非常に有意義でした。他校の悩みに共感したり、実践を参考にしたりと、視野が大きく広がりました。

○研修の最後に、自分自身の問いに対する考えを整理する時間が設けられており、学んだ内容を深く自分の中に落とし込むことができました。大変実りのある研修でした。